

「動物」の本

福岡県立図書館 青少年コーナー



9月のおすすめ

すべて貸出できます。
貸出されていたら
予約も受け付けています。



皆さんは毎年9月20日から26日までが『動物愛護週間』
だったこと、知っていましたか？

日本では3世帯に1世帯が犬や猫などのペットを飼っているほどの「ペット大国」ですが、そのいっぽうで一部の心ない人たちの虐待や飼育放棄などが後を絶ちません。

一度ペットとして飼いだめた以上はきちんと最後まで責任を持つことはもちろんのこと、ペット以外にも同じ命を持つものとして、動物たちをむやみに傷つけたりしないよう心がけることが必要なのではないでしょうか。

というわけで、今月は「動物」に関する本を集めてみました。



『みんなが知りたい
水族館の疑問50』
中村 元 著
ソフトバンククリエイティブ
480/76/62

水族館のこれってどうなっているの？というさまざまな角度からの疑問に答えてくれるのがこの1冊。

「魚はどこから連れてくるの？」「大きさの違う魚が一緒に泳いで平気なの？」「どうやってイルカに芸を教えるの？」「水槽の巨大なガラスが割れないかと心配だけど、大丈夫？」など、アンケートで集めた水族館の疑問に、水族館のエキスパートである著者がわかりやすく回答します。

カラー写真も満載で、水族館への興味がますます深まりそうです。



『犬と私の10年の約束』

川口晴／著

文藝春秋

F/カ/189/2

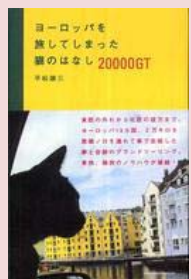
ソックス。それは犬の名前。なぜって、子犬の足の一本がソックスをはいたように白かったから。

十二歳のあかりは、家の庭に迷いこんだ子犬に出会う。しかし一度見失い、庭のあちこちを探していると父から電話がかかってきた。「お母さんが倒れた…」。あかりは、入院した母に子犬を飼うことになったと報告する。その時、母は言った。「犬を飼う時、十の約束をしないといけないのよ」二人は子犬を「ソックス」と名付けることにした。

その後母が亡くなり、仕事の忙しい父との二人暮らしになったあかり。しかし、ソックスがいてくれるおかげで、寂しさを紛らわせながら生活していた。

ある日、顔なじみのコンビニの店長から、ソックスはあかりの家に迷い込んだのではなく、母が娘のためにもらった犬だと知らされる。ソックスが母の形見なのだと知って、ますますソックスが大切になったあかり。しかし、父の仕事の都合で転勤が決まり、ソックスと一緒に暮らせないことになり…。

あかりは十の約束を守れるのでしょうか。犬と人との出会いと別れの成長物語です。



『ヨーロッパを旅してしまった猫の話』

平松謙三／著

ブルースインターアクションズ

045/6/221

猫が好き。ヨーロッパが好き。車で旅行するのが好き。じゃあ、その全部をいっぺんにやったらどうなるの？とチャレンジしてみたのがこの本です。

動物を連れて旅をする、しかも海外なんて大変なんじゃないかと思われるかもしれませんが、これが案外簡単にできてしまいます。

もちろん、検疫などのさまざまな手続きは必要ですが、愛猫とともに見る白夜の夕焼けなんてステキなことができるのなら、そんな苦労なんてへっちゃらかもしれませんね。



『獣の奏者』

上橋菜穂子／著

講談社

F/793/5

巨大な蛇のような獣「闘蛇」。彼らは戦闘に使われるが、けっして人に馴れることはない。

10歳の少女・エリンは闘蛇の医者である母と2人で暮らしていたが、ある事件のためにその母を失ってしまう。

引き取られた蜂飼いのジヨウンのもとで、巨大な鳥のような「王獣」を見たエリンは強く惹かれるのだが、そのことが彼女の運命を大きく変えていくことになる……
知らないうちに物語の中に引き込まれてしまい、あっという間に読み終わってしまう本です。



『金魚』

岡本信明／著

池田書店

666/9/59

口をパクパクさせる色とりどりの金魚、とても愛くるしいですね。今年の夏祭りで金魚すくいをして、みごと持ち帰った方もいらっしやると思いますが、実は金魚の寿命は犬と同じぐらいで十数年はあることをご存知でしたか？

ひと夏の思い出で終わってしまわないように、「金魚博士」と「金魚伝道師」によってわかりやすく解説されたこの本で金魚の上手な飼い方、育て方をマスターしましょう！

また、写真がとてもキレイで、気持ち良さそうに泳いでいる金魚をながめるだけでも楽しめます。



『川の光』

松浦寿輝／著

中央公論新社

F/797/6

チツチとタータ、それにお父さんのクマネズミの家族は、川辺の巣穴で幸せに暮らしていました。しかし、人間たちによる川の護岸工事が始まったことにより、その日々は終わりを告げます。

安心して暮らせる場所を探して、護岸工事の範囲外となる川の上流に向かって旅を続ける3匹。だけどそこにはドブネズミによる”帝国”が彼らの行く手をさえぎっていたのです。

図書館に住むグレンや気まぐれなネコ、ブルーたちの助力を受けた彼らは、はたして無事に川の光あふれる新しい住みかを見つけることができるのでしょうか。

以上六冊を「動物」というテーマで紹介しました。これ以外にも、「動物」の本をたくさん揃えています。ぜひ、ご利用ください。また、同時に9月1日の災害の日にならんで「災害」をテーマにした本も集めています。「青少年と暮らしの交流室」（青少年コーナー）でお待ちしています。

「動物」の本
展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料 I D	書名	巻号	著者名	出版者	出版年	請求 記号
1	1106742166	みんなが知りたい水族館の疑問50		中村/元 著	ソフトバンククリエイティブ	2007. 7	480 76 62
2	1106754868	犬と私の10の約束		川口/晴 著	文藝春秋	2007. 7	F カ189 2
3	1106757410	ヨーロッパを旅してしまった猫のはなし		平松/謙三 著	ブルース・インターアクションズ	2007. 7	645 6 221
4	1106427016	獣の奏者		上橋/菜穂子 作	講談社	2006. 11	F ウ93 5
5	1107057998	金魚		岡本/信明 監修	池田書店	2009. 6	666 9 59
6	1106742952	川の光		松浦/寿輝 著	中央公論新社	2007. 7	F マ97 6
7	1106792363	ありがとう障害犬タロー		小森/泰治 文	アスペクト	2008. 3	645 6 255
8	1106104439	きいろいゾウ		西/加奈子 著	小学館	2006. 3	F ニ41 3
9	1106239361	きみのいる生活		大竹/昭子 著	文藝春秋	2006. 6	645 79 2
10	1107059764	ひとり暮らしで犬を飼う		井原/亮 監修	大泉書店	2009. 6	645 6 274
11	1106775053	フェレット		大野/瑞絵 著	誠文堂新光社	2007. 7	645 9 32
12	1105880813	ベルカ、吠えないのか?		古川/日出男 著	文藝春秋	2005. 4	F 772 7
13	1106988357	ペンギンの歩く街		藤原/幸一 写真/文	ポプラ社	2008. 6	488 66 12
14	1105797779	へんないきもの		早川/いくを 著	バジリコ	2004. 8	480 4 142
15	1106569942	へんないきもの三千里		早川/いくを 著	バジリコ	2007. 11	F ハ173 1

「動物」の本
展示資料リスト (いずれも貸出可)

No.	資料 I D	書名	巻号	著者名	出版者	出版年	請求 記号
16	1107499638	ミニブタ飼いになる		小林/茂久 監 修	誠文堂新光 社	2010. 2	645 5 29
17	1106600418	ワンダー・ドッグ		竹内/真 著	新潮社	2008. 1	F タ262 3
18	1106764541	介助犬にもどりたい!		信田/滋弘 著	小学館	2007. 5	369 27 301
19	1106778541	犬・猫の気持ちで住ま いの工夫		金巻/とも子 著	彰国社	2008. 5	527 424
20	1107497949	犬部!		片野/ゆか 著	ポプラ社	2010. 4	645 6 290
21	1105649927	星空から来た犬		ダイアナ・ウィ ン・ジョーンズ 著	早川書房	2004. 9	930 シヨ ン S
22	1106850862	動物の赤ちゃんは、な ぜかわいい		増井/光子 著	創美社	2008. 5	480 4 158
23	1106515507	動物の値段		白輪/剛史 著	ロコモー ションパブ リッシング	2007. 10	480 76 64
24	1106757408	猫カフェ		関/由香 撮影	竹書房	2007. 9	645 6 223
25	1107050385	猫グッズ図鑑		佐々木/ルリ子 著	河出書房新 社	2009. 1	589 19